

【 高齢者及び障害者の支援施設・事業所等に施設巡回 PCR 検査を行います 】

江戸川区の人口 10 万人に対する新型コロナ感染患者は、12 月 8 日現在、237.3 人(23 区中 23 番目)です。しかし、感染は拡大傾向にあります。私たちは、重症化リスクの高い高齢者及び障害者の支援施設・事業所に勤務する職員への PCR 検査を要望してきました。区では、集団感染の恐れがあるそれらの職員の他、幼稚園・保育園・小中学校に勤務する職員約 2 万 2 千人を対象とした PCR 検査を 11 月より無償で実施することになりました。施設利用者の健康を守るとともに、事業所等の安定的な運営体制を確保することが目的です。



【 区役所前庭にソーラー充電スタンドが設置されました 】

再生可能エネルギー利用を身近に感じてもらうと区役所前庭に「ソーラー充電スタンド」を設置しました。ソーラーパネルにより太陽光で発電を行いスマートフォンや携帯電話に充電ができます。この充電スタンドは、「地域力活用基金(寄付金)」を財源として設置されたものです。

【 区が発注する仕事で働く人たちが守られるために -公共調達基本条例の改正- 】

江戸川区は多くの事業を民間と契約して行っています。例えば、図書館の指定管理、学校の改築なども工業者と契約します。事業者は工事を下請け、孫請けに出します。すると、労働条件などが厳しくなることがあります。安心して働くことのできる環境整備のためには、適正な労働環境の確保等を条例に含め、特定の公共事業に限らず公共調達全般を対象にすることが必要です。10 年前に公共調達基本条例案が出てきたとき、私たちは、それらに加え審査会委員などの委嘱についても議会の同意を必要とする修正案を提出しました。しかし否決され、働く側からの条項はないまま今日にいたっています。区は SDGs の観点からも、事業者、労働者双方ともに持続可能な社会を作っていくために、公共調達基本条例を改正する予定です。12 月にはパブリックコメントの募集も予定されています。みなさまぜひ、意見を出しましょう!



【 避難行動要支援者への

福祉避難所指定通知及び避難意向調査の実施 】

昨年台風 19 号の避難勧告の発令は「避難」を我が事と引き寄せるきっかけになったのではないのでしょうか。東日本大震災を経て、避難が難しい方々のことを多くの方に知っていただきたいと、実行委員会形式で「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者」上映&トークイベントを行いました。「江戸川区地域防災計画」では、いったん一時避難所に避難した後、必

要に応じて二次避難所に移動することになっています。私たちは、二次ではなく、あらかじめ福祉避難所として開設する必要性を繰り返し訴えてきました。この 10 月、区は、災害時在宅での避難生活が特に困難な避難行動要支援者約 1,400 人〔(1)要介護 5、(2)身体障害者のうち障害支援区分 4 から 6、(3)身体障害 1 級から 3 級の児童のうち、4 階以上に居住する方を除く〕に対し、福祉避難所の指定と避難の意向について確認する調査を実施しました。避難所を指定し、必要となる支援を事前に把握することで、発災時でも要支援者が円滑に避難できることが期待されます。今後は地域防災計画上位位置付けた要配慮者 68,000 人に向けた対策も考えていくことが必要です。

★議会報告会

話したいことがあれば
何でもご遠慮なく!
お子さん連れも OK です。
1 月 13 日(水)
10:00~11:30 タワーホール船堀 403
19:00~20:30 タワーホール船堀 403



★伊藤ひとみと本西みつえのブレイクアウトルーム

毎月第 3 木曜日夜 20 時から 21 時 Zoom にて開催中。
12 月 17 日(木) 1 月 21 日(木)



みなさまのご参加をお待ちしています。お申込は、QR コードまたは江戸川・生活者ネットまで